TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法-
神を誇りに思うことをやめられない！ローマの信徒への手紙 5:6-11

2026 年 9 月 12 日 & 13 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。まず、IBP―駐車場に新しい会堂を建設する計画―の最新状況について報告します。次世代のため、そして東京および日本における福音の働きのために、献金と出資をいただきありがとうございます。献金目標額は 5 億 820 万円で、現在 4 億 9880 万円(98.2%)が寄せられました。

現在のペースでいけば、2 ヶ月で目標額に達する見込みです。現在、IBP チームは設計会社を選定中です。主が引き続き私たちを導いてくださるようお祈りしましょう。IBP への献金の際は、「Impact」と書かれた封筒を使うか、オンライン献金の際は「IBP」と明記してください。

今日は『ローマの信徒への手紙』の学びに戻り、あとで、聖餐式があります。『ローマの信徒への手紙』では、私たち全員が神を創造主として認めず、みなが罪を犯し、罰を受けるに値していることを学びました。しかし今、律法とは別に、神の義が明らかにされました。

イエスが私たちの代わりに罰を受けた方として信じることで、私たちは「義」と認められます。

① 神との関係が変わります。神との平和がもたらされ、神と対話できます。
② 人生が変わります。神の恵みの中に立ち、神の恵みの領域の中で生きます。私たちが神の子として成長するのを助けるため、神は私たちのためにさまざまな状況や人々を用意してくれます。
③ 栄光の希望、そして忍耐、実証済みの品格、栄光をもたらす苦難でさえも誇りとします。「この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」

神の愛があるゆえに、私たちは失望することはありません。今日は、栄光の希望、すなわち神の御性質と本質を獲得するという希望を与えてくれるこの神の愛について見てみましょう。祈りましょう。

II. 神を誇りとするのをやめられない！

(1) 神はあなたを愛している

ローマの信徒への手紙 5:6-8 を見ましょう。**「6 キリストは、私たちがまだ弱かった頃、定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。7 正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のためなら、死ぬ者もいるかもしれません。8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対する愛を示されました。」**

パウロは私たちを「不敬虔な者」や「罪人」と呼んでいる点に注目してください。

「不敬虔」という言葉は、神とは違う人を指します。

① 神の似姿、神への理解を持たない人
② 神の啓示、御言葉、道徳的基準、あるいは御心に従わない人
③ 神との交わりがない人。神に頼ること、神に支配されることを望まない人。それが「不敬虔な者」であり、つまり私たちのことです。

しかし、パウロは、今や、私たち(不敬虔な者たち)は、「栄光の希望(神の御性質と本質を持てるという希望)」を持つことができると言っています。なぜなら、不敬虔な者たちのためにイエスが死なれたことを通して、神の愛が示されたからです。パウロは 7 節で次のように述べています。

「正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。」―つまり、神の御言葉すべてに従う人のために死ぬ者はめったにいないということです。

「善い人のためなら、死ぬ者もいるかもしれません。」―しかし、善い人、無実な、愛に満ちた、寛大な人のためになら、誰かが死ぬことはあり得ます。

① あるクリスチャンの姉妹が、夫と一緒に小型飛行機で旅をしていた時のことを覚えています。しかし、その飛行機は海に墜落してしまいました。夫は彼女を機外へ引きずり出した後、他の乗客を救うために再び機内へ戻り、自らの命を落としました。それは実に悲劇的な出来事でした。しかし、彼は知らない乗客たちのために自らの命を捧げることで、人間としての愛の最高のかたちを示したのです。
② マザー・テレサも同様です。彼女は、インドでハンセン病を患う無実の人々のために、生も死も厭わず生涯を捧げました。

③ 9.11 テロ攻撃の際、ハイジャックされた飛行機に乗っていた乗客は、テロリストたちが飛行機を何かに突っ込ませようとしていることを知っていました。自分たちが命を落とすことを承知の上で、彼らはコックピットに突入し、さらに多くの罪のない人々を犠牲にするのを阻止しました。

これらの人々は、人間としての愛の最高のかたちを示し、私たちはただ感嘆するしかありません。しかし、パウロはイエスの愛、すなわち神の愛は、これとは全く異なるものだと言っています。それは、無実な犠牲者のためではなく、邪悪で不敬虔で不道徳な抑圧者たちのために、自らの命を捧げるような愛なのです。

私たちは、「えっ？　神は、抑圧される者たちよりも、抑圧する者たちの方を愛しているというの？」と聞くかもしれません。

神は、私たちにはわからないことを知っています。それは、私たちはみな、邪悪で不敬虔で不道徳な抑圧者であり、この世への愛に囚われています。私たちは、神の望みや他者の望みよりも、自分の欲望を満たすことを切望しています。

私たちは、些細な著作権侵害や脱税によって、誰かからお金を少しだけだまし取って、あるいはポルノを少しだけ見て、不道徳な考えを少しだけ抱いて、あるいは当然そうされるべき相手に対して少しだけ怒って、全体としては、自分たちは無実で善良な人間なのだと考えるかもしれません。

しかし、神の目には、私たちは殺人者であり、姦通者であり、強姦犯であり、街全体を焼き払い、その過程で出会ったすべての人々に危害を加えた強盗です。この事実を認識できなければ、神の愛を決して理解することはできないでしょう。

しかし、私たちがどれほど邪悪な存在でありながらも、神は私たちを憐れみ、御子イエスを私たちのために死ぬことを許し、その結果、私たちは救われ、義とされ、赦され、変えられ、神の子として栄光に輝かせてくれたことを本当に理解したら、私たちは言葉を失い、神の愛に圧倒されるでしょう。

(2) 神があなたを救うでしょう

9-10 節です。「9 それで今や、私たちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。10 敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。」

本当の疑問は「神の愛がいかに素晴らしいか」ということではない人もいます。それはすでにわかっているからです。本当の疑問は、「もし私があまりにも邪悪で、それでもなお神の御性質や本質を身につけることができないとしたら？長い間クリスチャンでありながら、どうして私の心の中は依然として邪悪で、不敬虔で、不道徳なままであるのか？」ということです。

パウロはこの問いに対し、「より大きなこと、すなわちはるかに困難なことが真実であるならば、当然、より小さなこと、すなわちより容易なことも真実である」という論証を用いて答えました。これが 9 節にある論証です：

・「それで今や、私たちはキリストの血によって義とされた」、つまり、神が御子に私たちの罪の罰を受けさせてくださった、という意味です。それは、より偉大であり、より困難なことです。
・それならば、「キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです」。もちろん、神は私たちの罪のために、改めて私たちを罰することはありません。それはより小さいことであり、容易なことです。

例として、これらの列をもう一度使ってみましょう。数週間前、私たちは次のことを学びました：

① この欄（右）は私たち、この欄（左）はイエスを表しています。私たちは神に対する罪に満ちているため、不義な者です。しかし、イエスは義なる方であり、イエスには罪が一切ありません。
② しかし、私たちがイエスを信じる時、私たちの不義はイエスに着せられ、イエスの義は私たちに着せられます。そして、イエスは私たちの罪の罰を受け、十字架上で死なれ、私たちは赦されました。―それこそが、より偉大なことです。
③ もし神が私たちを愛するためにそこまでしてくださるのなら、私たちに与えられたイエスの義を忘れて、私たちの罪のために再び罰を下すことがあるでしょうか？もちろん、そのようなことはありません。イエスの義に覆われている私たちを、神はご自身の怒りや罰から守ってくださるのです。それこそが、より小さい、より容易なことなのです。

10 節でも同じ主張を繰り返しています：
・**「敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいた」**とあります。神と私たちの和解のために御子が死にました。それこそが、より偉大であり、より困難なことなのです。
・**「和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです」**―神は、私たちがイエスと共に、この新しい人生を歩ませてくれないのでしょう

か。もちろん歩ませてくれます。それこそが、より小さなこと、はるかに容易なことです。

マーティン・ロイド＝ジョーンズ博士は、神と和解することを木に枝を接ぎ木することに例えました。ナイフで木に切り込みを入れ、その切り口に新しい枝を差し込むことができます。イエスを信じる時、まさにそのようなことが起きます―私たちはイエスに接ぎ木されます。そこがより難しいことです―木に切り込む必要があるからです。

接ぎ木したら、あとは自然に任せるだけです。樹液が木から枝へと流れ込み、枝に生命と力を与えてくれます。そして成長し、果実が実ります。そこがより簡単なことです。

イエスを信じる時、私たちは神に接ぎ木され、神と和解します。そこがより難しいことです。イエスの死が必要だったからです。いったん和解が成し遂げられれば、あとは自然に物事が進んでいきます。神から私たちへと命が流れ込み、神の御性質と本質が私たちに与えられます。そして、私たちは成長し、実を結びます。そこがより簡単なことです。

パウロが言っているこれです。神が、私たちと共にいるためにイエスを犠牲にするという高い代償を払うことを厭わないのであれば、神は私たちと分かち合いたいと願っている人生を、私たちに生きさせてくれないはずがありません。

(3) 神は偉大だ

11節「11 それだけでなく、私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を誇りとしています。このキリストを通して、今や和解させていただいたからです。」

クリスチャンとして、私たちは怒りや不道徳、高慢と今でも闘っているかもしれません。しかし、私たちは、第一に「栄光の希望」、第二に「苦難」、そして第三に「神を誇る」ことを誇りとします。

私たちが、自分たちがどれほど邪悪でありながらも神が私たちを愛してくださり、私たちの罪のためイエスが死ぬことを許し、たとえ私たちがどれほど罪深い者であり続けたとしても、義と認め、私たちを変え、私たちと共に歩んでくれることを理解したら、私たちは神を誇ることをやめることはできません。

もし私たちはそう誇っていないのであれば、まだ信仰のみによって義と認められている、と本当に理解していないからです。おそらく、まだ自分自身や自分の努力を誇ろうとしているのでしょう。それは、ルカによる福音書第18章にある、神殿で祈っていたパリサイ人と徴税人の物語に登場するパリサイ人の姿とよく似ています。

① あるパリサイ人は、「神よ、私が他の人々とは違っていることを感謝します」と祈りました。そのような人は、理解していません。そのような人は心から神を誇ることはできません。なぜなら、自分には誇るべきものが一つもない、と知らないからです。
② しかし、徴税人は「神よ、罪人の私を憐れんでください」と祈りました。イエスは、徴税人は義と認められて家に帰ったと言いました。彼がそれを理解していたら、神を誇らずにはいられなかったでしょう。なぜなら、神の憐れみしかないと理解しているからです。

これこそが、私たちが誇る神です。神は、私たちがどれほど邪悪であるか、何度失敗したかなどには目を向けません。ただ、私たちを神の愛する子供として回復させ、イエスを通して私たちに命を分け与えたいのです。神は、私たちを義と認め、変え、栄光に輝かせると約束してくださいました。これこそが、私たちが誇る神です。

今日、私たちは一緒に聖餐式を行います。それは、私たちが以前より良くなったからではなく、次のように信じているからです：

① 私たちは、十字架上のイエスの死と復活によって、赦され、義と認められています。
② 神は現在、私たちを御自身の御性質と本質に変えるために、私たちの中で働いておられます。
③ イエスが再臨されるその日、私たちは栄光を受け、神の御性質と本質を帯びることになるでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg3726jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 20(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

★クラス 210
スモールグループについて知ろう!
10 月 3(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes

急募!

奉仕者募集中!

1.日本語訳レイアウト&印刷

(女性 2 名募集)

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半~2ケ月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先:hiromik@tokyobaptist.org